


長年勤めていた会社をクビになり、次の就職先が決まるまでの繋ぎとして働きだしたコンビニ。
それもいつの間にか半年が過ぎ、日々の業務にも慣れてしまっていた。

しかし、ただのバイトとしての仕事に身が入るわけでもなく、とりあえず無難に業務をこなし、年下の店長に叱られるという屈辱を受けないようにする。
そんな色あせた毎日、生きる気力を失いかけていた。



そんな自分にとつて、目をキラキラさせている前途有望な若者は目に毒だった。その中でも特に幸せそうなカップルなどは、見るだけでも腹の底が煮えたぎる。

それがただの嫉妬によるものだとわかつていても視界に入るとその気持ちを抑えることはできなかつた。

そして、今日もそんなカップルが来店した。

ららっしやいませー

イチャ



そんで、聡がなー

ギョッ

アップ

えーひどおい(笑)



イチャ



ベツタリとくっついてたまま店内を回るカップル。
彼らはもうこの店の常連といつてよく、いつも仲良さげに
いちやつきながら買い物をしていく。

イチャ



キス

アプ

♡
イチャ



男の方は「あつくくん」、女の方は「ナツキ」という。
二人がよく呼び合っているせいで、こちらもその名を
覚えてしまっていた。



しかもこの二人は既に結婚しており、互いの薬指には指輪がはめられているのだ。
自分よりも二回り以上は離れているだろうにもかかわらず、人生では既に追い抜かれている。

イブ
♡

胸も足もあんなに露出して
なんつーエロい服装なんだ……
隣の男はいつもこの女を抱いている
のか……羨ましい

ギョッ

アッ

♡

甘酸っぱい恋愛の経ての結婚なのだろう……
自分にとつてはもう不可能なことだ。
というよりも、結婚すらもできるか怪しい立場に
いる。

チャ

そして、夫婦は必要なものを買いそろえて
ショッピングやってきた。

イチャ



こちらは温めますか？

ゴムも買って
今日は盛りまくりってか
くそっくそっ

アッ

でねーそのとき……

ギョッ

まじかよ？ そりやないわ

イチャ

しかもこちらの問いかけにも反応しない。

そして、会計時には、散らばるように放り投げられた金をかき集めさせられ、最後はレジ袋をひったくるようにして無言で持ち去っていく。

ないわー……それはない(笑)

でしょでしょー？

毎度のことながら、あの横柄な態度には慣れることがない。

イチャ

イチャ

ギョッ

アッ



そんな二人の後ろ姿を睨みつけるも、自然と目がいつてしまふのは、女の際どいケツのラインだった。

んち♡

しち♡

んち♡

んち♡

パンツのラインが浮き出てるじゃないかっ!
あのエロいケツをワシも好き放題にできたらなあ……

プリプリと左右に揺れる尻は、まるで
自分を誘惑しているようで目が離せない。
それに刺激されるようにして、ち○ぽも
勃起していた。

アッ

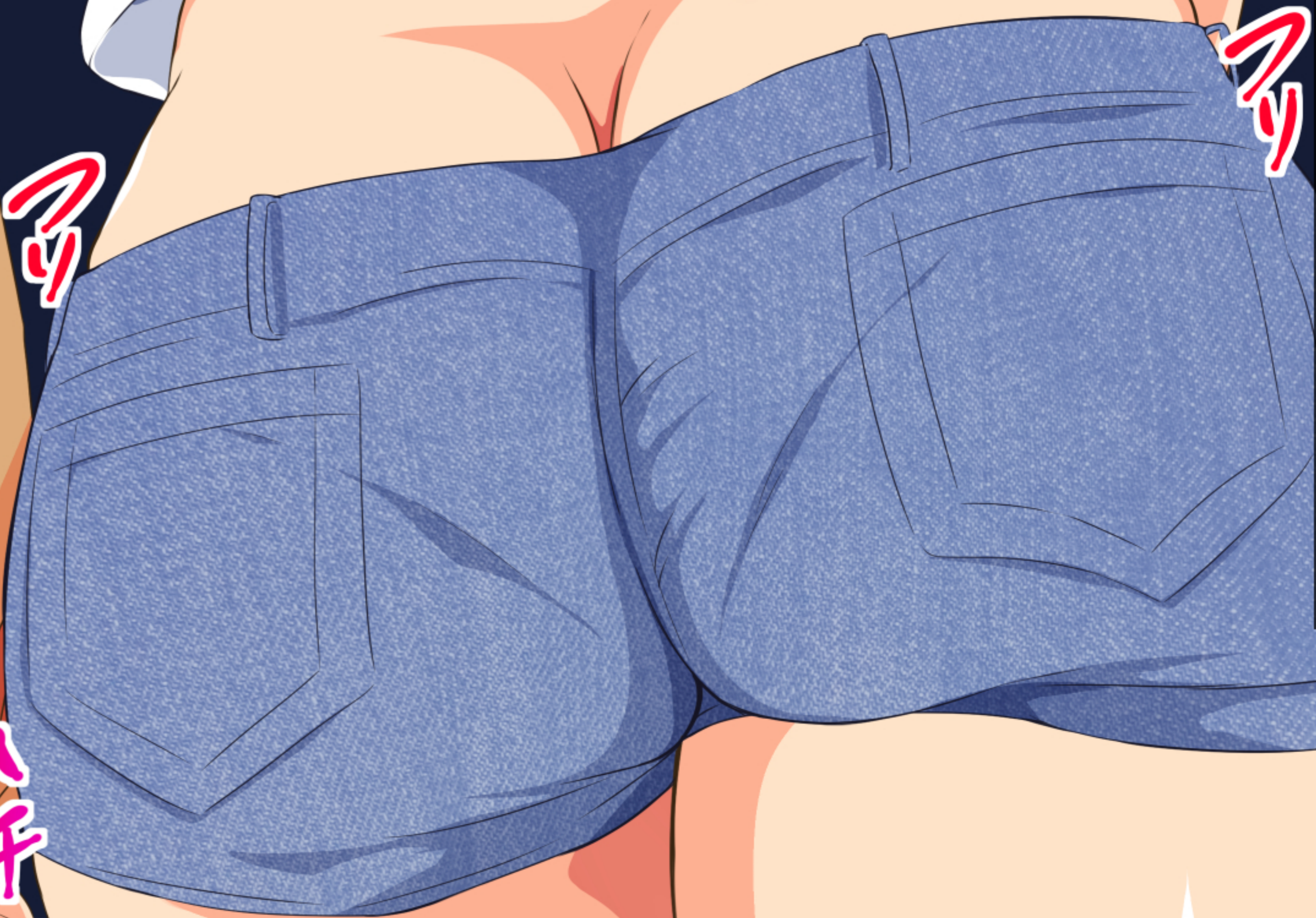
んっ♡

んっ♡

あのケツを揉みしだいて、バックから
突き入れてやりたいっ
ま○こも具合が良いんだらうなあ……
ああ、ムラムラしてきたぞ。
風俗で発散……といっても、今のワシに
そんな余裕はないし……くそっ

今夜、隣を歩く夫はあのエロい妻を無茶苦茶に抱くのだろう。それに比べて、自分はエロ動画をオカズにするしかないのか……

んっ♡



んっ♡

いや、少し食費を削っていけば、安い風俗くらい行けるだろう……このムラムラは女を抱かないと発散できんっ

幸い、週末に休みがある。そこで女を抱きに行こう。さすがにあの女ほどのレベルの高い奴はいないだろうが、そこは我慢だ。

ついでにオナニーもその日に向けて止めだ。女を抱いたときに全てを出し切ってやる。

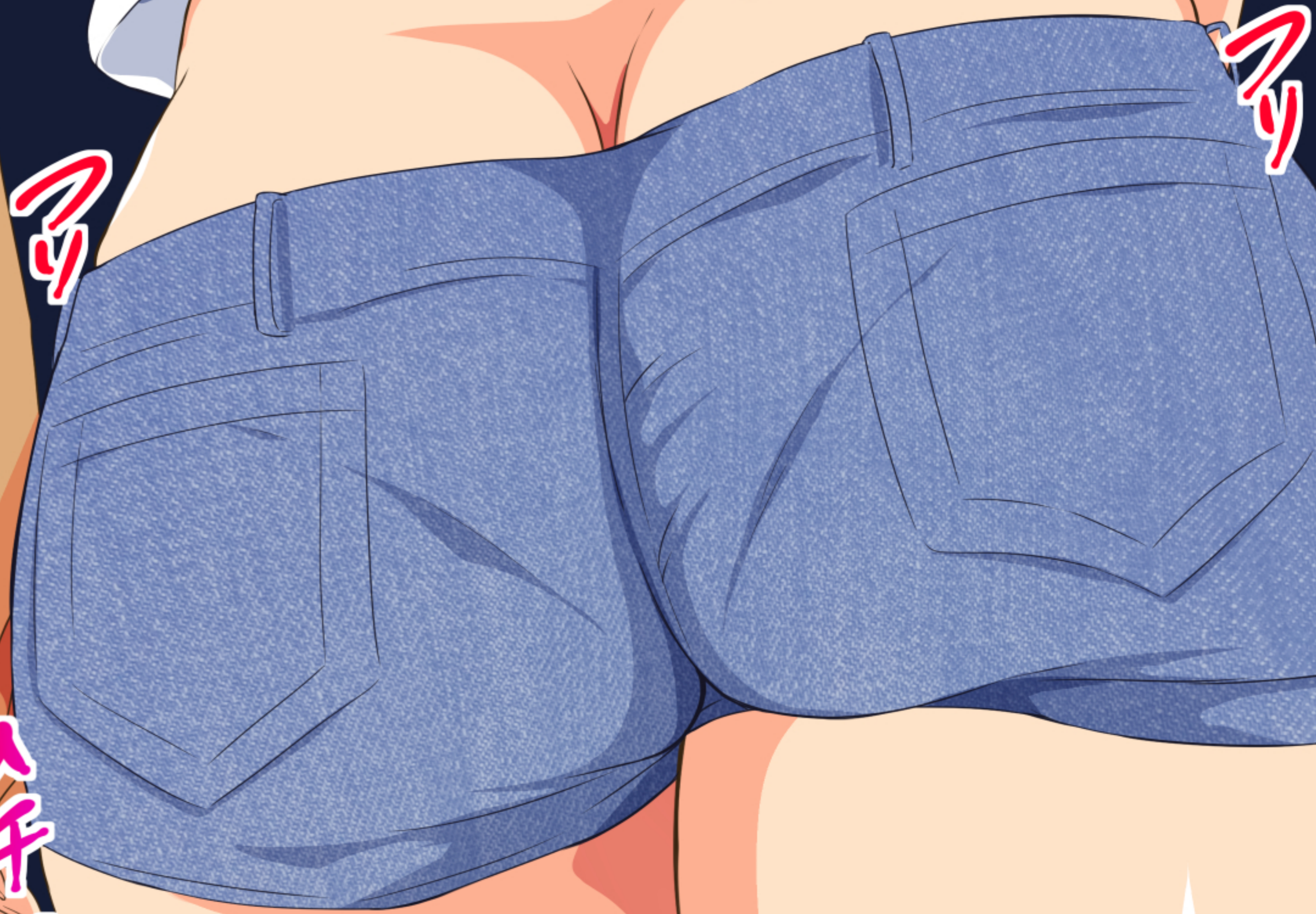
しゅん♡

しゅん♡



そんな些細な楽しみを糧に、週末までの
退屈で味気ない時間を耐えるのだ。

んん♡



んん♡

んん♡

しかし、本当にいいケツをしていたなあ……
インパクトがありすぎて、脳裏から離れん

そして、ようやく休み前の最後のシフトを終え、
柄にもなく少しテンションをあげながら帰り道を
急ぐ。

年をとっても性欲は全く衰えんからな。
朝勃ちも毎日のようになってしまつて、
いつ夢精するかとヒヤヒヤしたわ

しかし、それも今日でおしまいだ。
明日はこのムラムラも全て発散してやるぞ。
相手となる女には悪いがな

その途中、いつも近道として通り抜ける公園のベンチで珍しい光景を見た。

おいおい……こんな場所で居眠りか？

靴も脱げてるし、泥酔してるのか……
若い女が不用心な――

その不用心な女の顔を見てやろうと近づき、
それが自分の知っでいる奴だと気づいた。

おいおい……この女は
いつものイチヤつき夫婦の片割れじゃないか。
なんだって、こんな場所で……

規則正しい寝息をたてながら眠る女。
その寝姿は乱れており、色んな部分が
無防備にさらされている。

ア
ア
ごくつ……お、おーい
こんな場所で寝ていると風邪を
ひくぞ……

起こすフリをしないで、むっちりとした
太ももを触る。

うおっ……柔らかいっ
それでいて弾力があって、
吸い付いてくるっ

もみっ

サッ

スー

スー

こんな柔肌は久しく味わっていない。
無意識のうちにも、何度も何度も揉み
ほぐし、撫でまわす。

しかし、身じろぐ女に
咄嗟に手を引つ込めた。

ん……ん、んっ

お、起きたわけじゃないのか。
焦らせやがって……

ア
ア

ア

しかし、念のため少し間を置いてから再度太ももを堪能する。

ああ柔らかいなあ……
おっぱいも触ってやろうか
かなり泥酔しているようだし
触っても気づかれないんじゃないか……

もみっ

サッ

スー

スー

……いや、それよりもセックスできるんじゃないか

そんなどす黒い欲望がふつふつと湧きあがってくる。

だが、もしバレたら、ワシの人生はどうなる……？

もしも、

サッ

いやでも、こんな極上な女を抱けるなら……っ

理性と欲望がせめぎ合う。しかし、ずっとオナ禁をして溜めこんできた自分が、こんなおいしい場面を逃すことはできなかつた。

スー

スー

ナツキ……だったか？
こんな場所で寝てたら、風邪を
ひいてしまうからな。
おじさんが休憩できる場所まで
運んでやろう

もみっ

サッ

はあ……はあっ
そこでゆーっくり寝ていいからな。
おじさんが飛び切り気持ちいい
マッサージもしてやるから

スー
スー
これからのことを想像して、股間は
既にパンパンに膨れ上がっている。
先ほどまでの理性はすでになく、
今は彼女のアソコに挿入すること
しか考えることができなくなっ
ていた。

ナツキを背におぶると、そのまま来た道に戻る。

その途中もナツキの安産型のケツを揉み、背中で爆乳の柔らかさを楽しむ。さらに、アルコールの臭いに混じる甘い香りが興奮をより高める。

あの横柄な若い男の妻を抱くんだ。金玉がからっぽになるまで精子を注ぎ込んでやるっ

そして、たどり着いたのは、ホテルの二室
——二人きりの密室である。
部屋の中はナツキの寝息以外に聞こえて
くる音はない。

ふうー……ふうー……
それじゃあ、ナツキちゃん……
しばらくの間、おじさんの相手を
よろしくね

おじさん

スー

スー



ああっ……ずっと気になっていた
ナツキちゃんのおっぱいが目の前につ
ちゅう、ちゅぼっ……ちゅっ

おいひい……ナツキちゃんの
おっぱいっ乳首っ

ちゅ

じゅるん

ちゅう

もみ

もみ

アッ♡

ん♡

久方ぶりの若い肉体に加え、
普段から顔を合わせている他人の
妻。
その瑞々しい乳首に一目散に
吸い付く。

片方だけじゃなく、両方
可愛がってあげるからねっ
おほっ……コリコリしてきたっ

ちゅう

じゅるん

んんん

もみ

もみ

ちゅ

んんん

んん

んふふふ、ちゅうちゅうちゅう
寝ているのに感じてるのかな？
見た目通りのやらしい体をしている
んだな……おじさん、ますます興奮
してしまっじゃないか

あっ……はっ
はっ……んん

興奮しすぎて唾液が止まらないよ
おっぱいがもうベトベトだ……

ちゅう

ちゅう

じゅるん

んっ

んっ

んっ

もみ

もみ

でも、まだまだ吸い足りないっ
こんな偶然にはもうありつけないだろう
から、飽きるまで吸い付くしてやるっ

柔らかくてエロくて……なんて良いおっぱい
なんだっ

こんなもんぶら下げて
コンビニにやっつけてきやがってっ
何回、お前の姿でシコったと思ってるっ

ちゅう

じゅるん

ちゅう

ふあっ……あ、あ
……あっ……くん♡

もみ♡

もみ

このっ……エロ乳がっ！
ちゅうっじゅるるるっ！

ん♡

んー？ 夫の夢でも見てんのか？
残念だったな。今、お前のおっぱいを
吸ってるのはおっさんだよ

ほれっ……おっさんとキスもしような
じゅるるるっちゅうばっれろっ

んんんっ……んっ♡
ちゅう、ちゅうっ……ちゅうっ♡

じゅるるっ♡

ちゅ、
ちゅう

ちゅっ♡

♡

ちよつとアルコール臭いが
それ以上に甘いなあ……
ああ、こりや酒以上にクセになる
味だ

ナツキちゃん、おじさんの唾液
美味しいか？ ん？

いーっぱい飲んでくれていいんだぞ？
ナツキちゃんのためなら、いくらでも
出てくるからな

いーっぱい♡

ちゅぽ♡

ちゅ
ぢゅら

♡

んふっ……んく、んく……んくっ
んんっ……ん♡んん、んん、んん

まさか、こんなおっさんとベロチュー
することになっているとは、夢にも
思わんだろうなあ

まあワシにとっては超ラッキー
ナツキちゃんも気持ちよくなるから
ラッキーだと思ってくれよな？

じゅるる

ちゅ
ぢゅら

♡

最後にもう一回このおっぱいを
しゃぶり尽しておくか

ちゅ

ちゅ

じゅる

んっ

んっ

じゅるるるっじゅぞぞっ
ナツキちゃんの勃起乳首うめえ
どんだけ吸っても飽きないっ

もみ

もみ

はあっ……はあっ
もう我慢できんっま○こだっ
ま○こにワシのをぶっ刺してやるっ！

ナツキちゃんのおま○こ丸見え
いつも露出の激しい服装してるだけ
あって、まん毛はしっかり処理して
るんだなあ

剃り残しのないツルツルおま○こ
まん肉もぷっくりしててエロいっ

スー

スー

ぴんぴん

ぴんぴん

とろ

ナツキちゃん、早く起きないと
大好きな夫以外のち○ぽが入っちゃやうぞお
くう……ぷにぷにのおま○こに擦りつける
だけでも気持ちいいっ

おじさんのち○ぽを気に入ってくれたら
嬉しいんだけどなあ
ナツキちゃんも起きないという事は
入れてもいいってことだよねえ？



それじゃ遠慮なくっ
ナツキちゃんの人妻おま○こにっ

あっ……んんっ♡

あゝ♡
あゝ♡

あゝ♡

プリン♡

あゝ♡

あゝ♡

プリン♡

アゲアゲ♡

おお、くうううっ
これが……憧れてたおま○こかっ
押し返されるような隆圧だっ
くはっ……気を抜くとすぐにでも
射精しそうだ！

よい……しよつとつ
これで奥まで入ったぞ
ああ……みっちり吸い付いて
くる人妻ま〇こ最高だ

はああー……ふうん♡

ああ♡

フル

たゆん

ク

ク

ズ
ン
ッ♡

キ
ン♡

毎日、夫とヤリまくりだと思ってたが
これだけキツイとなると、あの男は粗チン
なのかもしれんなあ……
ワシにとってはありがたいことだがな(笑)